

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

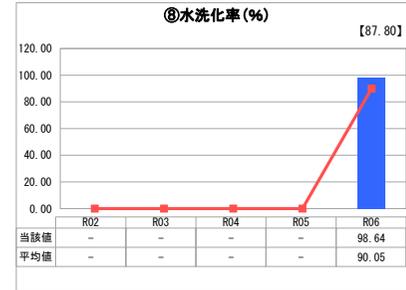
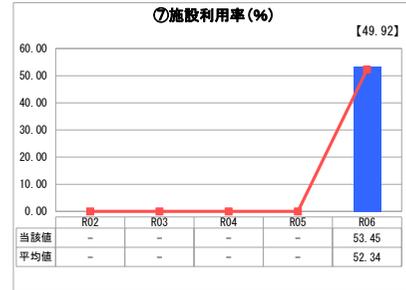
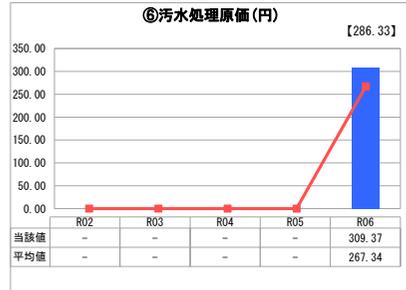
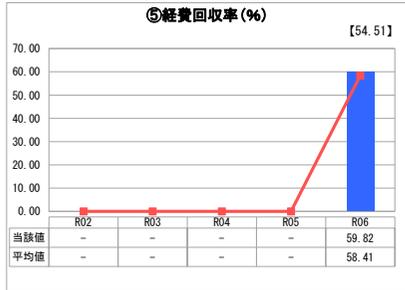
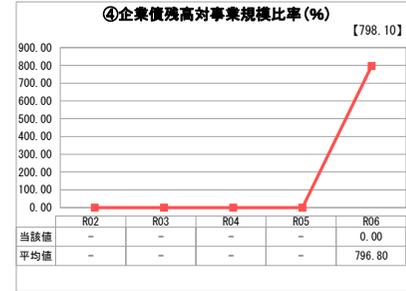
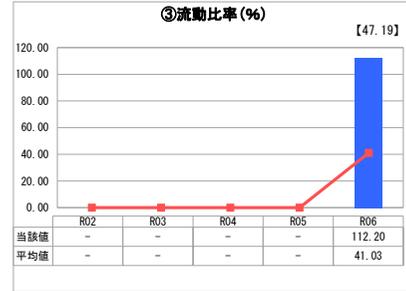
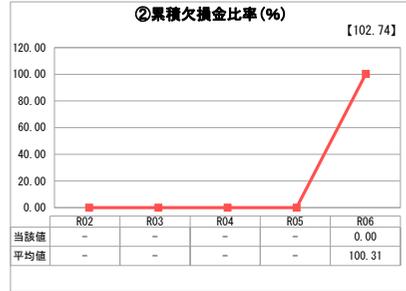
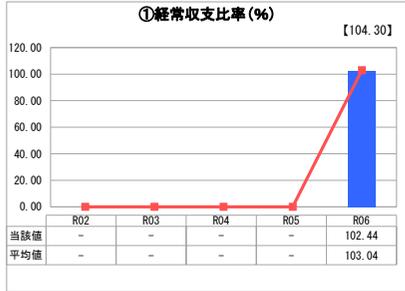
北海道 南幌町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	94.30	5.50	79.36	3,924

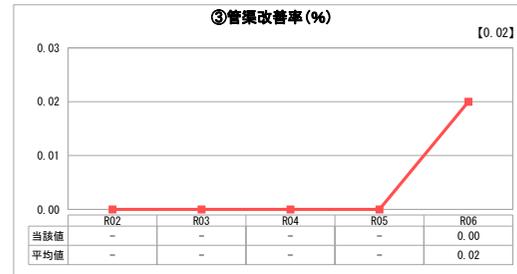
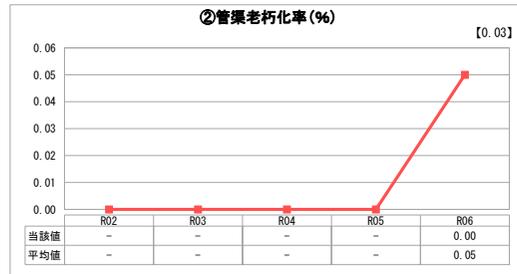
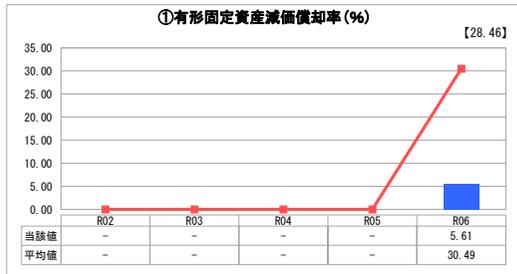
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,933	81.36	97.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
442	0.20	2,210.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度は、農業集落排水事業特別会計が地方公営企業法の一部を適用し公営企業会計へ移行した初年度であり、事業の透明性や適正な料金設定、財政状況の把握を主な目的として企業会計へ移行している。

①経常収支比率  
比率について、100%以上で黒字となっていることから健全な経営と言える。

②累積欠損金  
累積欠損金比率について数値が0%になっていることから健全な経営と言える。

③流動比率  
流動負債に対する流動資産の割合である流動比率は、100%を超えており、健全な経営と言える。

④企業債残高対事業規模比率  
流動比率において、類似団体平均値を大幅に上回っている要因は、農業集落排水施設の起債償還が概ね完了しており、維持管理を行っているのが要因だと考える。

⑤経費回収率  
回収率は、類似団体平均値と比較して同推移となっているが、100%に達していないことから汚水処理費の削減、適正な使用料収入の確保が課題である。

⑥汚水処理原価  
汚水処理原価は類似団体平均値より微増であり、今後において維持管理費の削減に向けた取り組みを行っていく必要がある。

⑦施設利用率  
類似団体平均値と同推移であるが、使用控えや節水器具の普及等による影響を受け有収水量が減少し降下傾向にあると考えられる。

⑧水洗化率  
概ね100%に近い数値となっており、類似団体平均値より大きく上回っていることから、汚水処理については適正に行われていると考えられる。

### 2. 老朽化の状況について

農業集落排水事業の実施は平成3年度より行われており、30年経過しています。一般的に管渠の基準的耐用年数は50年となっていますが、老朽化対策として定期的に管渠調査を行い、管渠の状況を確認し維持補修していく必要があります。

また、令和元年度に機能診断により最適整備構想を策定しており、年次計画に基づき、管渠及び処理施設の更新を検討します。

### 全体総括

施設の老朽化に伴う維持管理費の増加や、人口減少等による使用料収入の減少が見込まれることから、汚水処理費を料金収入のみで賄いきれない状況にある。それに伴い一般会計繰入金も増加すると考えられることから、今後においても更なる経営改善に向けた取り組みを行っていく必要があり、最適整備構想計画に基づいて計画的かつ効率的に管渠及び処理施設の更新を行っていく必要があると考える。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。